

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 4 年度)

施設の名称	旧河澄家		指定期間	2	年度～	6	年度		
			指定の方法	単体施設を指定管理					
施設所管課	人権文化部 文化室 文化財課		連絡先	06-4309-3283					
設置目的	郷土の文化財を広く市民の利用に供し、市民の郷土理解と文化的向上に貢献するため、旧河澄家を設置するもの。								
施設内容・業務内容等	東大阪市指定文化財 旧河澄家は、敷地面積が1634.89㎡で、主屋、棲鶴楼、蔵、庭園などからなる。指定管理者には、施設の維持管理業務、展示業務、体験学習等各種活用事業を委託している。								
指定管理者	株式会社 アスウェル		連絡先	072-984-1640					
人員体制	正規職員	3	人	パート・アルバイト	3	人	その他	0	人

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	281	259	250	297	297
指定管理委託料(千円)	17,207	19,803	19,199	20,006	20,484
利用状況指標	1 入館者数(人)	7,689	4,733	5,474	補足説明 新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館。 R2.3.2～R2.5.22 R3.4.25～R3.6.20
	2 施設利用者数(人)	161	99	303	
	3 イベント実施回数(回)	企画展示 12回 体験イベント 24回 講座ハイキング31回	企画展示 10回 体験イベント 15回 講座ハイキング30回	企画展示 11回 体験イベント 18回 講座ハイキング34回	

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示): S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。
 「最終評価」(任意決定): 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	設置目的の「市民の郷土理解と文化的向上に貢献」を理解し事業の運営をしている。各年度継続して行う事業と新しい事業をバランスよく配置し、利用者のニーズに応えている。また、古民家のため段差等はあるが、積極的に声をかけて手助けするなど、マンパワーで補っている。
B 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	設備・清掃の管理については適切に実施されているが、備品管理において台帳に使用不可能のものが含まれていた。台帳の適宜修正が求められる。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	S	開催しているイベントについては、子ども向けや成人を対象にしたものなど幅広い年齢層に実施しておりサービスに偏りは見られない。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	S	イベント終了後はアンケートを実施しており、満足度および感想・意見を広く聞くことで市民の声を反映し、次に活かす取り組みができています。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	イベント実施の際には講師を地元の文化人に、ほぼボランティアに近い形で依頼できているなど、経費の縮減を図りつつ地元の方の活動の場の提供にも寄与している。引き続き市民の活動の場としても施設が活用できるよう取り組むことが求められる。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	S	関係法令や各種規則等については研修がおこなわれており、職員への周知徹底がはかられている。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) A	定期的なイベントも毎年切り口を変えており、新たなイベントもバランスよく配置している。地元との連携で、地域の中の文化施設としての役割も果たしている。今後の取り組みとして、より幅広い文化の拠点となれるように更に新たな団体や個人と連携してほしい。